

7 企業のテクノロジーで地域課題を解決

市町が抱える課題と企業が有する技術とをマッチングさせ、課題解決を目指す「ひょうごTECHイノベーションプロジェクト」。住民や市町の協力の下、選定事業者による実証実験が始まっています。そのうちの2例を紹介します。(取材・文 本紙編集部)

県地域振興課 ☎078-362-4233 ☎078-362-3950 ひょうごTECHイノベーションプロジェクト 🔍

学校敷地内の鳥獣被害に悩む新温泉町

×
害獣忌避装置の製造・販売を手掛ける
イーマキーナ(株)(神戸市)

■ 超音波照射で校庭へのシカの進入を防止

人には聞こえない音が動物たちにはかなりうるさく聞こえることを利用し、10月11日、超音波を出す装置を同町の夢が丘中学校に設置。シカに有効かどうかを探っています。



学校敷地内に侵入したシカ。



超音波を出す装置。

地域活動人材の確保を目指す丹波篠山市

×
生産者と消費者の新しい関係を構築する
EXest(株)(東京都港区)

■ 黒枝豆オーナーを丹波篠山の応援団に

同社のプラットフォームを活用し、丹波黒枝豆のシェアオーナーを市外から募ります。オーナーになると植え付けから収穫まで、農作業の1年を体験できます。同市内の5つの協力農家で収穫体験イベントも実施。参加者にオーナー制の魅力伝えます。



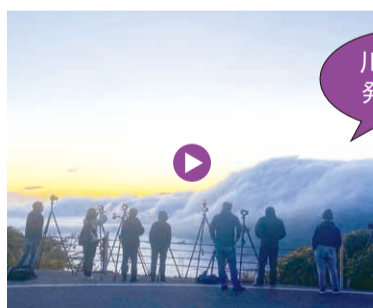
収穫体験イベントの様子。

8 円山川の「川あらし」は全国でも珍しい自然現象です



来日岳の山頂から見た円山川あらし。川に沿って霧が海に流れます。

「川あらし」とは、川の水面で発生した霧が強風によって川伝いに流される現象です。愛媛県の肱川、鹿児島県の川内川、そして豊岡の円山川の川あらしを「三大川あらし」としてPRしています。「円山川あらし」の見どころは、日和山から見える、あふれ出た霧が津居山を乗り越えて滝のように海へ流れる大迫力の光景。前日の気温が高く、夜から朝にかけてぐっと温度が下がり、すっきりと晴れた早朝に発生しやすく、10月～11月をピークに3月ごろまで多く見られます。(「円山川あらしプロジェクト」メンバー 脇聡士さん)



川あらし発生中!

Twitterアカウントはこちら



公式Twitterアカウントで、発生状況を動画や写真で発信しています。

9 丹波市で半世紀ぶりの映画館です

2017(平成29)年、映画を撮るために丹波市にスタジオを構えましたが、まちには映画館がありませんでした。そんな時、かつての目抜き通りに使い道に困っていると聞き、映画館にすることを思い付きました。困っている場所が喜ばれる場所になれば面白いと思ったのです。足を運んでもらえるよう内装や音響にこだわり、昨年7月「エビスシネマ。」をオープン。約50年ぶりの映画館復活です。最近では、音にこだわる映画ファンが県外から訪れてくれることも。ここで文化が育まれて、丹波市が映画のまちになれば最高ですね。(映画監督・エビスシネマ。支配人 近兼拓史さん)



間伐材で作った座席の生地は丹波布。音響にも注力し、スピーカーはスクリーン裏や壁に21台設置しています。



映画館復活物語を描いた「銀幕の詩」を来年2月ごろから全国巡回上映します



入り口にかかるのれんが目印。

☎エビスシネマ。☎丹波市氷上町成松263-3

☎0795-88-5910 ☎0795-88-5915 エビスシネマ。 🔍